

ケニアの子どもたちと守る 生物多様性プロジェクト

活動地域  ケニア



コーディネーターワークショップ

課題

換金作物や森林伐採等の普及により、生物多様性保全に関する知識や技術が軽視され、伝統野菜や果実、自生樹木、またそれらにまつわる伝統知の伝達や保存が危惧されている。

目標

ケニアの子どもたちと周辺住民の地域の生物多様性への理解が深まり、生物多様性保全のための行動が取られるようになる。

今後の展望

各対象地により、政府、校長や担当教員、コーディネーター等との関係や活動への理解において課題があるが、各地と丁寧な報連相を続け良い関係を続ける。実施が遅れている活動を各地の状況に合わせて実施する。

ひろげる助成

1年目

実践

活動内容と成果

- ケニア国立博物館伝統知センターの研究者を講師に迎え、ケニア各地で活動をはじめするための講師研修を実施。その後、各郡政府より事業開始許可の出た4郡の小学校にて担当教員・地元コーディネーター・農業環境クラブの生徒を対象に研修を実施
- 研修後3校にて、地域の伝統野菜や伝統食文化等について子どもたちが調べる活動が開始
- 1校は教育省本省からの承認を求められ、現在本省に申請中。もう1校は、郡教育局からの許可の取得に時間がかかり3月より開始
- 活動を開始した学校では、生徒たちの調査活動が続いている



森林保護活動
— 伝統野菜を保存する農家 —

生物多様性記録者数 **69人**

伝統野菜や自生樹木のデータ種類 **22種**

今年度計画の達成度 **40%**

全体計画の達成度 **20%**

苦勞した点と工夫した点

苦勞した点

総選挙実施による治安悪化懸念による活動実施の遅れ。対象郡により事業開始手続きが異なり、全対象地域で実施できなかった。

工夫した点

事業の開始を目指して事業のアドバイザーの協力を得て、教育省との交渉、対象校や郡政府への連絡や説明を重ねた。

〒110-0015
東京都台東区東上野1-20-6
丸幸ビル3階
電話：03-5738-7135
E-mail：info@hands.or.jp
HP：https://www.hands.or.jp/

